

3/31 原子力防災・避難計画 ヨウ素剤の事前配布を求める 院内集会 & 政府交渉

国は、原発の再稼働を強引に進めています。その一方で、避難計画・防災計画は実効性もなく、被ばくを前提としたものになっています。とりわけ、安定ヨウ素剤については、多くの問題があることが明らかになってきました。



3/31 13:30～ 参議院議員会館にて

事前配布は基本的に 5 キロ圏内しか認めず、避難が必要な 30 キロ圏内は事故後に避難集合場所で配布となっていますが、これだけでも、住民の安全を無視したものです。現在、福島県内外で、東日本の広い地域で、子どもたちの甲状腺がんの深刻な症例が報告されています。政府は福島原発事故の教訓さえ省みようとしていません。

さらに、3 才未満用のゼリー状安定ヨウ素剤については、独自に事前配布を進めているひたちなか市（30 キロ圏内）や篠山市（50 キロ圏）は、購入することさえできない状況にあります。国に従わなければ、購入さえも妨害しているのです。一体誰のための安定ヨウ素剤でしょうか。子どもたちの安全と人権は踏みにじられています。

院内集会で 30 キロ圏外で独自に事前配布を進めている篠山市の取り組み、事前配布を求める福井や鹿児島、鳥取、茨城、関西、東海等の活動を交流し、問題点を明らかにし、政府交渉（内閣府原子力防災担当・原子力規制庁）を行います。どなたでもご参加いただけます。再稼働反対と安定ヨウ素剤事前配布を求めていきましょう。ぜひ、ご参加ください。

ゲスト：玉山ともよさん（篠山市原子力災害対策委員会 市民委員）

石地 優さん（福井県若狭町 安全なふる里を大切にする会）

菅野みずえさん（浪江町から兵庫に避難）

崎山比早子さん（元原発事故国会事故調・委員）

鹿児島、鳥取、茨城、関西、東海等、各地から参加します

日時：3月31日（金）13:30～15:30 院内集会 15:40～17:10 政府交渉

場所：参議院議員会館 B107（地下鉄永田町駅／国会議事堂前駅）

主催：川内原発 30 キロ圏住民ネットワーク／玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会／ふるさとを守る高浜・おおいの会／グリーン・アクション／美浜の会／避難計画を案ずる関西連絡会／FoE Japan／グリーンピース・ジャパン／福島老朽原発を考える会／原子力規制を監視する市民の会／賛同：原発なしで暮らしたい宮津の会

問合せ：090-8116-7155 阪上まで／資料代：500 円